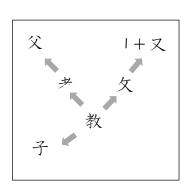
かいじがいせつ解字の概説

諸橋轍次著、大修館書店発行の大漢和辞典は、親文字5万余字、熟語53万余語を収録した、世界最大の漢和辞典です。この5万字の内の9割以上が会意、形声、及び会意且形声の文字なのです。漢字は象形文字であると言われることが多いのですが、それは、ほんの僅かなもので、これらから変形した部首と呼ぶ部品を組合わせた文字なのです。石井勲博士は数々の著書の中で、多くの文字の成り立ちを説明しています。これを「解字」と呼んでいます。詳しくは著書をご覧頂ければ好いのですが、他に多くの人も著書の中で解説しています。

解字を通じて文字の印象を深め、意味を詳細に理解し、言葉として記憶に取込み、語彙を広め、深めることができます。

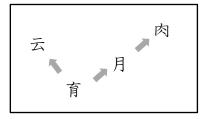
「教育」と「学習」の解字

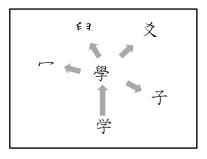
ここでは「教育」と「学習」の解字を通じ、夫々の言葉の意味を詳細に考えたいと思います。先ず、「教」という文字は、左上が「老頭」



と呼ばれ、「父」が変化した部首です。 また、父に止まらず、母、教諭、先輩、先達などと広く捉えても好いと思います。左下は「子」が変化したもので、教えられる対象者を表しています。右側は「攵」で、道具を持つ手を示しています。父が子に道具の扱い方を見せ ているという意味になります。

「育」の上側は「云」で、頭を下にした人の象形です。下側は「月」で肉が変化した部首です。つまり、母親がたいないたいに 胎内で胎児を育てることを示しています。 母親に限らず、父、教諭、先輩、先達が育つ手助けをすると考えましょう。

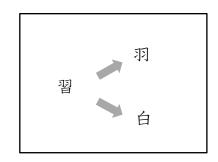




しています。中央の「ワ冠」は家の象形です。下側の「子」と組み合わせて、父親が家の中で子供に手を差し伸べていることを表します。 また、古い日本語では「まねる」と「まなぶ」は同じ語源でした。差し伸

べられた父の手に助けられ、真似をするとも解釈できます。

「習」は上に「羽」を、下に「白」を組合わせています。未だ羽の白い幼鳥が、飛べもしないのに羽ばたいていることを表しています。また、古い日本語では「慣れる」と「習う」は同じ語源から別



れたものです。つまり、「習」は、慣れるまで繰り返すことを示している のです。

四つの漢字の意味を総合すると、「教」教育者が手本を示し、「學」 その中から何かを捉えた被教育者が真似をし、「習」何度となく繰り 返して、「育」被教育者が育つことを表していると考えられます。

教育で陥り易い逆効果

しばしば

「教」が「育」に円滑に繋がれば宜しいのですが、屡々逆効果を 生みます。

解字で「教」の「女」は道具を持つ手を表していると説明しました。しかし手には鞭を持つこともできます。教育者は被教育者が早く育つことを望む余り、��咤激励が過ぎることがあります。被教育者がやる気を無くす程強く要求すると逆効果が生まれます。学校の授業で興味の対象を未だ見出せないだけなのに、「落毀者」などと呼名迄付けています。全ての被教育者が育って欲しいと願う余りに陥るのではありますが、その思いとは全く反対の結果を招いています。トーマス・エジソンも落毀者でしたが、世界に電気製品を売るGEを設立する迄に育っています。

家庭教育の理想

学校教育には「全ての被教育者が育つ」と云う難しい課題が与えられています。家庭教育は対象者が限られていますので、一生を懸けるに相応しい「興味関心の対象」を探し出す手伝いに徹することも可能です。エジソンのお母さんはトーマスを学校に行かせず、電化製品の発明に没頭させましたが、トーマスの関心事が鮮明だった為で、誰もが真似できることではないでしょう。でも、「興味関心の対象」を探し出す、手伝いに徹することに努力頂ければ幸いです。

館長の独り言

石井勲博士の一連の教育体系の中に、「解字」と呼ぶものがありました。漢字は象形文字と言われますが、それはほんの一部分であって、会意文字、形声文字、会意且つ形声文字が 90%以上を占めています。象形文字と指示文字、及びそれらの変形したものが、構成部品として縦横に組上げられた文字です。石井勲は著書の中で詳細多岐に説明して居ますので、それらをご覧頂ければ幸甚です。

ここでは教育と学習を取り上げ、解字を通じて掘り 下げながら、教育と学習の在るべき理想の姿を考 えてみました。

石井未来館館長 石井峻 http://:ishii-miraikan.com